



本多 公栄
HONDA KOEI

(35)

都道府県：岩手県

所属事業体名：岩手中央森林組合

現場技術者としての経験年数：5年

JLC出場経験：初出場

Q1. 林業に携わるようになったきっかけは？

林業を特集したテレビ番組を偶然見た際に、林業の労働条件の酷さを知り、「これなら自分が断られることはないだろう。自分もまだ20代だし」と目指したが、実際は緊急雇用までかかった。

Q2. チェーンソーマンの面白み、やりがいは？

本来は、あらゆる知識、技術、学問分野（特に物理、幾何学）、道具、発想を駆使して、自由に頭脳と肉体を使えるところ。わずかな操作ミス、判断ミスが死に直結するところ。

Q3. 現場で行っている安全対策はありますか？（作業前、作業中など具体的にお願いします。）

安全装具であれ、便利なツールであれ、カネで買えるモノは買うこと。作業に集中しすぎないこと。（パイロットの6割頭）「ゼロ災でいこう、ヨシ！」などという道化を信じないこと。「面倒くさい」と思わないこと。

Q4. 今まで現場で体験した危険なことはどんなことですか？

斜面下側に伐倒した木が、伐倒地点にあった僅かな木立によって跳ね返り、自分の顔の真横の高さまで戻ってきたとき。

かかり木が不意に外れ、バスター・キートンの映画のごとく、枝と幹との隙間へ避けたとき。

Q5. JLCに出場しようと思った理由は何ですか？

競技会に対して、理解を示さない周りの人間たちに対する反発があり、より速く、より正確なチェーンソー技術の世界を、身をもって体感するしかなかったため。

Q6. JLC出場に向けての抱負をお聞かせください。（自身の持ち味、得意とすること等）

能をつかんとする人、「よくせざらんほどは、なまじひに人に知られじ。うちうちよく習ひ得て、さし出でたらんこそ、いと心にくからめ」と常に言ふめれど、かく言ふ人、一芸も習ひ得ることなし。（徒然草）

Q7. 現場技術者（林業に携わる者）としての今後（将来）の目標はありますか？

「資本主義の精神」に立ち返ること。林業に携わる者が、3ナンバーの普通車と、4ナンバーの軽自動車を維持できるようにすること。月給制とsick leaveと未払い分の福祉を得ること。